

「バイオバンク検体の質量分析による
疾患診断アルゴリズムの構築と精度検証」
研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2003年4月1日から2023年3月31日の間にバイオバンクネットワーク参加病院の外来患者・入院患者

2. 研究の目的

この研究は、バイオバンク・ネットワークに参加する全国の病院にかかる各種がん及び脳神経疾患、心疾患の患者様を対象として行われます。入手した臨床試料・情報を分析し、各種疾患の質量分析 AI 診断法としての確立を目指します。

3. 研究の方法

質量分析という方法で血清の成分を分析し、得られたデータをデータベースに蓄積します。このデータを人工知能で学習し、各種がん及び脳神経疾患、心疾患の質量分析 AI 診断法を確立するためのアルゴリズムを構築します。

4. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2027年3月31日

試料・情報の利用又は提供の開始予定日 2023年9月7日

5. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：年齢、性別、診断名、併存症名

試料：血清

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

この研究は以下の責任者のもとで既存試料・情報の提供を受けて実施します。試料・情報の利用者は先端応用医学講座及び総合医科学センターの研究者のみです。

【研究責任者】

山梨大学医学部先端応用医学講座 講師 岩野 智彦

【既存試料・情報の提供のみを行う機関】

・バイオバンク・ジャパン（BBJ）

- ・東北メディカル・メガバンク計画（TMM）
- ・ナショナルセンター・バイオバンクネットワーク（6CN）
 - ・国立精神・神経医用研究センター（NCNP）
 - ・国立国際医療研究センター（NCGM）
 - ・国立成育医療研究センター（NCCHD）
 - ・国立長寿医療研究センター（NCGG）
- ・東京医科歯科大学疾患バイオリソースセンター（TMD）
- ・筑波大学附属病院つくばヒト組織バイオバンクセンター（THB）
- ・岡山大学病院バイオバンク（OBB）

8. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学医学域長 小泉修一

9. 個人情報の取扱いについて

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

10. 利益相反（企業との利害関係）について

この研究は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構の研究費を用いて実施いたします。また、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

11. お問い合わせ等について

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又は FAX にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又は FAX にてご連絡ください。

〈照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先〉

山梨大学医学部先端応用医学講座 講師 岩野 智彦

メールアドレス：tiwano@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-1262